

# 研究の歩み

平成25年度～

平成30年度（コアスクール・リーディングスクール研究第2年次）



**学校教育目標：グローバル社会の中で、自他共に認め合い、  
未来を逞しく生きる生徒の育成**

**校訓：自主・協同・友愛      具体的に：規律・感謝・情熱**

＜特色のある取組＞

**(1) 国際交流デイ（平成25年度～29年度）**

- 近隣の大学留学生、ICという交流団体が来校し、各国の文化紹介・交流、日本の文化紹介（浴衣の着付け、茶道、柔道・剣道の紹介等）を行った。
- 給食を一緒に食べて、和食についての説明など、食文化の交流を行った。一例としては、イスラム圏の方は豚肉を、インドの方は牛肉を食べないことやハラール食などについて身近に体験した。

**(2) 世界の料理教室（平成25年度～29年度）**

- 島郷市民センターと共同で行っている家庭教育学級で、世界の料理教室を行っている。これまでに、インドネシア料理、シリア料理、韓国料理、中国料理を行った。家族で参加し、交流を図った。
- 本年度は、校外学習も兼ねて、食育というテーマでソーセージ作り（ドイツ）を行った。



**(3) じゃがいもづくりとカレー大会（インドカレーと日本のカレーの食べ比べ）、防災訓練**

- 31年間継続して、洞北中学校校区内の畑を借りて、じゃがいもづくりと収穫の農業体験をし、そのじゃがいもを使用してカレー大会を行ってきた。平成25年度には、北橋市長、区長、地域の方々、高齢者施設の皆さん、地域の留学生の皆さんを招待し、インドの留学生にカレーを作ってもらい、日本のカレーとの食べ比べを行うなどの農業体験学習30周年記念行事を開催した。（平成26年度31年目で終了）
- 平成27年度からは、1年生を対象に、地域防災学習として、玄海青年の家で飯盒炊飯とカレーづくりを行い、災害時避難や炊き出し等についての学習を行っている。PTA役員、「おやじの会」の方々がボランティアとして参加している。（平成29年度は11月25日、平成30年度は11月30日実施）



#### (4) 夏休み英会話教室と文化交流

- 夏休みに希望者を募って、「英語を話そう！体験教室」を開催して、6年目になる。1年目は参加者数鶴5名くらいであったが、ここ数年はは30名を超える参加があった。JET、ALTに講師を依頼し、2～5名のALTとの英会話教室と文化交流を行った。



#### (5) 英語授業実践

- 近隣の大学の留学生が英語授業に参加。生徒2～4名に一人の留学生が入り、これまでに学んだ英語を使用して、コミュニケーション活動、プレゼンを行っている。(自己紹介、インタビュー、好きな本、訪問したい場所、修学旅行、日本の偉人についてなど) (年に1～2回実施)



#### (6) マレーシア中・高校生ホームステイと授業参加

- マレーシアの中・高校生ホームステイを12月に1週間10名程度受け入れている。中・高校生は、生徒の家庭にホームステイしながら学校に通学し、学級に入って交流する。生徒は、英語やジェスチャー等でコミュニケーションを図っている。(平成26年度、27年度、28年度実施、31年度は実施予定)



## (7) 伝統文化学習

- グローバル社会の中で、世界の国々の文化や言語について学ぶことは大切であるが、日本の伝統文化を伝承することも大切である。ほとんどの生徒が経験をしたことのない着物を着付け（1年）、茶道体験（2年）、琴演奏体験（3年）、1・2年百人一首、美術科での和菓子づくり、修学旅行の俳句づくり、地域の祭り紹介（生徒会）等に取り組んでいる。一人一人の生徒が、日本の文化について学ぶ機会を与えて興味・関心を高め、外国の方にも自信をもって紹介できる素地をつくることを目標としている。

